

事務事業	11019	子育て広場運営事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	子育て支援係 小林 敦香
計画 後 期 計 画 系 画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる		款	3	民生費
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H11 年度より開始		□期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 毎月第2また第3木曜日(※シームイトまたは町民体育館使用)において、町内の就学前の子どもとその親を対象に親子イベント(体育あそび、工作等)を開催。企画・運営は町立保育園保育士が中心となって行う。外部講師に依頼する回、場合もあり。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 計画、広報、講師依頼、準備、受付、広場実施、後片付け、講師謝金支払	主 な 事 業 費 の 内 訳	講師謝礼金	38 千円
		消耗品費	21 千円
			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 子育て広場の開催(毎月1回)	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 未就学児童をもつ保護者及びその児童	ア 参加世帯数	単位	27年度	28年度	29年度
		イ 開催数	回	532	427	600 (見込)
		ウ		12	12	12 (見込)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 親子で楽しみ、子育て家庭との交流を図る。	ア 未就学児童数	人	3,792	3,582	3,608 (見込)
		イ				(見込)
ウ					(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	ア 参加世帯数	世帯	目標	27年度	28年度	29年度
	イ		実績	600	600	600
			実績	532	427	
	ウ		目標			
			実績			
	エ		目標			
実績						
オ		目標				
		実績				

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等		626	935	648		
		受益者負担等						
		一般財源	914	338		325		
		合計(A)	914	964	935	973	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)	861	888	877	897		
	正職員人件費[按分](B)		446	347	311	754		
トータルコスト(A)+(B)		1,360	1,311	1,246	1,727	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
児童虐待が社会問題となってきた中、核家族化等で家の中で孤立した子育てを行っている保護者への支援が求められるようになってきた。地域の保護者同士の交流の場となり、在宅保育を行う保護者の子育てを支援することを目的に、平成11年度より開始。	子育て世代の転入者は近年増加の一途をたどっており、家の中での孤立した子育てを防ぐためにも、交流の場や機会の提供が求められる。	「子どもがはじめは慣れなかったけど、その後すぐ慣れて親しみやすかったです。」「親子で遊ぶ時間が少ないので来てよかったです。」「体を使った遊びや知っている音楽で楽しかったです。」「一緒に体を動かして楽しかったです。」「家でみたいです。」「はじめてサンタに会えて喜んでいました。」(参加者アンケートより)

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	広報・ホームページ・子育てカレンダー等への掲載により、毎月参加者への周知する。人気の講師の方に引き続き来ていただき、多くの親子に参加してもらった。広場自体も保育園の備品などで楽しんでもらえるよう工夫しており、新しくお願いする講師もあり、また違う形で楽しんでいただいた。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	未就学児童をもつ保護者及びその児童が親子で楽しむこと、また、子育て家庭との交流を図ることは、安心して子どもを育てることができるということにつながる
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	児童虐待の防止策の一つとして、親子のふれあいと保護者同士の交流の場を提供していく必要がある
③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	子育て支援センターでの案内、広報・ホームページ・子育てカレンダー等への掲載により、毎月参加者への周知する
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	事業開始以来実績を積み重ねており、毎月行われるものという認識や安心感がある。そのため、現状で廃止・休止を行えば、在宅で子育てを行う世帯への影響は避けられない
⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	講師に依頼している分を、有償でもボランティアの講師で補う方法をとっている。ボランティア講師による企画を取り入れ、講師謝金の削減を考えて行く必要がある

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

H27年度のアンケートで、体を使った遊びの希望が多かったため、運動遊びを中心に広場を実施。多くの方が喜んでくれた。また、子育て支援センターを通してできた親子の参加が増えてきた。
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	広報・ホームページ・子育てカレンダー等への掲載により、毎月参加者への周知する。アンケートの結果をもとに内容を改善し、多くの親子に参加してもらった。広場自体も保育園の備品などで楽しんでもらえるよう工夫した。来年度も、アンケートをもとに、今までの形も残しながら、また違う形で楽しんでいただきたい。